

広報広聴特別委員会行政視察調査報告書

期 日	令和 7 年10月23日（木）
訪問先	愛知県 知立市議会
出席者	川口 仁 委員長 山口 保子 副委員長 小島まさひろ 委員 高橋 知己 委員 高橋 伸也 委員 奈良 直史 委員 白川 美作江 委員 松本 樹影 委員
随行者	中井 議事調査係長
調査項目	議会だよりのリニューアル及び高校生議会について
調査内容	<p>○議会だよりのリニューアルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年 8 月から、市民と議会をつなぐ架け橋としてタイトルを「かけはし」に変更し、併せて見やすく読みやすいデザインに一新した。 ・紙面の構成、記事の配置、フォントサイズなどは、議会モニターと年 1 回協議している。 ・5 つのステップ（企画決定、原稿割当・収集、ラフレイアウト作成、校正・再校、印刷・納品）を経て発行している（会議は 3 回開催）。 ・一般質問の記事には質問の項目と映像配信ページ（YouTube）への二次元コードだけを載せ、内容は映像で見ってもらう。 <p>○高校生議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の視点から意見を聴き、議員とともに協議する機会を設け、議会活動を通じて地方自治への関心を高めてもらうことを目的として令和 3 年度から実施しており、令和 6 年度までに 5 回開催している。 ・第 3 回から大学教授をファシリテーターとして招いて進行方法のアドバイスを受けており、政策提言の発表後に意見交換（少人数によるグループディスカッション）を行う形とした。 ・主権者教育の実体験の場となっていること、地域課題への関心が深まること、議会と高校が持続的に連携を取れること、議会にとっても非常に大きな学びとなることがメリットである。 ・政策実現できた例として道路損傷等通報システムがある。
主な質疑	<p>問 議会だよりのリニューアルに対する市民の声は。</p> <p>答 思った以上に前向きな意見が多く批判的な意見はほとんどない。一般質問が見にくい、場所が分からないという意見はほとんどなく、見た目がすっきりして明るくなったという良い評価をいただいている。</p> <p>問 高校生議会の進行を政策提言→意見交換とした経緯は。</p> <p>答 以前は 5 つの委員会に分かれて意見を交わし、最後に議場で発表という流れであったが、人数が多いこともあり調べた内容をなかなか発表できなかった。調べた内容を発表できるように小グループでのディスカッションを行う現在の形にした。</p>

期 日	令和7年10月24日（金）
訪問先	愛知県 東浦町議会
出席者	川口 仁 委員長 山口 保子 副委員長 小島まさひろ 委員 高橋 知己 委員 高橋 伸也 委員 奈良 直史 委員 白川 美作江 委員 松本 樹影 委員
随行者	中井 議事調査係長
調査項目	議会広報紙づくりについて
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年11月発行の第200号を機に紙面構成を大きく変え、「読める」「分かる」「つながる」の基本方針と「読みやすい工夫」「分かりやすい工夫」「見出しで分かる工夫」「住民とつながる工夫」「手に取ってみたいくなる工夫」「一般質問の工夫」の6つ工夫を編集方針としている。 ・発行までに会議を6回開催しており、3回を校正に充てている。 ・紙面のデザインは、DTP（Desk Top Publishing）の資格を持つ会計年度職員に依頼している。 ・1つの記事に写真やイラスト、表などを1つ以上使用することで文字ばかりの紙面にならないよう心掛けている。 ・議員活動への理解を深めるため、定例会以外の活動を紹介する議会トピックスというコーナーを設けている。 ・一般質問の記事の補完として映像配信ページ（YouTube）への二次元コードを載せている。このほか、記事の内容に関連するウェブページの二次元コードも載せている。 ・住民と繋がる「聴かせて！ひがしうら好きですか？」の記事に力を入れており、取材先の選定から交渉、取材、撮影の全てを議員が行っている。また、取材の際に東浦町の好きレベルを聞き、集計した「好き好きグラフ」を載せている。 ・第200号から2年に一度、住民の声を掲載する特集を組んでいる。 ・第37回町村議会広報全国コンクールでは第210号（令和4年2月1日号）が、編集・デザイン部門で「奨励賞」を受賞した。
主な質疑	<p>問 人物の写真を載せる際、本人以外にも許可を取っているか。</p> <p>答 事前に許可を得ているほか、掲載イメージを確認してもらうため紙面作成後も許可を得ている。紙面作成後に申出があれば写真を差し替えることもある。特に子供の場合は、学校を通じて保護者にも確認している。</p> <p>問 「聴かせて！ひがしうら好きですか？」の取材先の選定方法は。</p> <p>答 取材担当が町内で頑張る方々を選定し、委員全員で検討して決定している。ボランティアセンターに登録のある団体を選定することが多い。</p> <p>問 編集方針以外に気を付けていることは。</p> <p>答 読みにくい漢字にルビを振ること、色弱の方を考慮した色使いとすることを意識している。</p>